

シテ従来大阪砲兵工廠ヨリ解雇跡ニ支給
 ヌル金額ハ十年勤続者ニシテ約百五十日位ナ
 リト絲シ民間工場ニ比較シ著シキ懸障ア
 ルモノトシテ市内住友経営工場及藤永田造
 船所等ノ最近改定ニ係ル解雇手當規定
 等ヲ参酌シ目下執議起草ヲ爲セル趣ニテ
 談退職手當規定ハ官營工場ニ於ケル共通規
 定トシテ来ルヘキ大會ニ附議決定シ其結果
 内閣總理大臣ニ上申之カ實現ヲ期セトスル
 模様ナリ

要スルニ軍備縮少ノ結果ハ當該工場職工ノ
 解雇ハ素ヨリ避ク可カラサル運命ト爲シ此
 際ニ於テ解雇ニ伴フ保障ヲ得ルヲ以テ至眼
 一セルヤニ認メラル尚全會ハ来ル十二月四日奉
 行ノ豫定ナリシ普通選挙実施示威運動
 ハ之カ爲メ延期セムトスルモノ如シ
 右及申一通二報下也

特秘第一五三三八號

大正十年十一月二十九日
 大阪府知事 池松 時 和

内務大臣 赤次竹二 郎 殿
 陸軍大臣 山梨 半 造 殿
 海軍大臣 加藤 友三 郎 殿
 警視總監 岡 喜七 郎 殿
 京都 柳 泰川 愛知 廣 島 殿
 福岡 各府 縣 知 事 殿

官業労働總同盟 臨時
 大會ニ関スル件

軍備縮少ニ伴フ失職問題
 断策講究ノ爲メ管下大改砲兵工廠
 上會主催トナリ其後公會ハ數次
 通リニシテ其後公會ハ數次